

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年1月1日

1. 職名・氏名 教授・米田 誠

2. 学位 医学博士、専門分野 脳神経内科学、授与機関 新潟大学、授与年 1990.11

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 臨床病態学Ⅰ（1単位 毎年開講）看護学科1年生（2022年度）</p>
<p>② 内容・ねらい 適切な看護を展開するために必要な疾患の病態を把握する能力を修得することを目的とし、各種の疾病に関する基礎的知識と臨床病態を講述した。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド・配布資料・課題を事前に、Google classroomにアップロードし、事前学習や復習に役立ててもらった。対面講義時には、事前配布のスライドを提示しながら学習効率の向上を行った。Zoomによる遠隔授業においては、スライドを共有しながら双方向性の講義を行った。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 臨床病態学Ⅱ（1単位 毎年開講）看護学科1年生（2022年度）</p>
<p>② 内容・ねらい 適切な看護を展開するために必要な疾患の病態を把握する能力を修得することを目的とし、各種の疾病に関する基礎的知識と臨床病態を講述した。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 スライド・配布資料・課題を事前に、Google classroomにアップロードし、事前学習や復習に役立ててもらった。対面講義時には、事前配布のスライドを提示しながら学習効率の向上を行った。Zoomによる遠隔授業においては、スライドを共有しながら双方向性の講義を行った。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 感染症学（2単位 毎年開講）看護学科2年生（2022年度）（福井大 非常勤講師とオムニバス）</p>
<p>② 内容・ねらい 感染症や関連する免疫異常症の本態を正確に把握し、それらの症候、治療、予防を習得することを目標とし、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、神経系、血液系などにおける感染症と関連する免疫異常症（膠原病、アレルギーなど）の症候、病態、治療について講述。本年度は、新型コロナウイルス感染症についても講義した。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） スライド・配布資料・課題を事前に、Google classroomにアップロードし、事前学習や復習に役立ててもらった。対面講義時には、事前配布のスライドを提示しながら学習効率の向上を行った。Zoomによる遠隔授業においては、スライドを共有しながら双方向性の講義を行った。</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 成人・老年保健学特論（4単位 毎年開講）大学院生（2022年度）</p>
<p>② 内容・ねらい 成人・老年期の個人あるいは集団の健康維持・増進の全体を、さらにはその疾病、障害の予防・支援の全体を最新の臨床病態から総合的に追求し理解を深めるとともに、論文の内容を理解し、また批評できる能力を養うことを目標とする。加齢に伴う様々な身体的・生理的老化現象や特有の臨床病態を講述した。特に、認知症は看護社会福祉の面から重要な問題の一つであり、疾病の病因・症状・治療・予防について最新の知識を提供するとともに、院生からも関連する論文の内容を紹介解説し、参加者全員で論文内容について批評を加えた。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p>

対面講義時には、事前配布のスライドを提示しながら学習効率の向上を行った。Zoom による遠隔授業においては、スライドを共有しながら双方向性の講義を行った。

① 担当科目名(単位数)主たる配当年次等(2022年度)(平井教授とオムニバス)

環境保健学特論(2単位 毎年開講)大学院生

② 内容・ねらい

環境と健康・疾病に関する問題について両者の関係について理解を深めるため、近年急速に変貌している様々な環境要因が正常範囲を逸脱した場合に発生する健康障害や疾病について臨床医学的な見地から講述・討論する。また、健康障害や疾病から環境要因について評価を加え、最新の科学的根拠に基づいた健康増進・疾病予防の可能性を探る。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

Zoomによる遠隔授業においては、スライドを共有しながら双方向性の講義を行った。

(2)その他の教育活動

内容

<非常勤講師>

- ・加齢と老化 福井大学医学部医学科4年生(2022年度)
- ・遺伝倫理 福井大学医学部医学科3年生(2022年度)
- ・「先端応用医学概論 遺伝子病学基礎と臨床 遺伝相談の講義(隔年、1コマ)」福井大学大学院医学専攻(2022年度)
- ・遺伝倫理 福井大学医学部大学院看護学専攻(2022年度)

4. 研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

1. 米田誠. ミトコンドリア脳筋症. 今日の治療指針 2022, 1022-1023, 医学書院, 2022.
2. 米田誠. 遺伝子異常. ナーシング・グラフィカ, 編集 山内豊明, 24-37, メディカ出版, 大阪, 2022.

【2本】

③ 学術論文(査読あり)

1. A Case of Possible Chronic Graft-versus-host Disease in the Central Nervous System Manifesting as Cerebellar Ataxia after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Acute Myeloid Leukemia. Kae Takahashi, Takayuki Katayama, Takaya Ichikawa, Satomi Matsuoka, Yasutaka Kakinoki, Makoto Yoneda, Akio Kimura, Satoshi Koyama, Osamu Yahara. Internal medicine (Tokyo, Japan) 2022年8月10日
2. Cerebral Oxidative Stress in Early Alzheimer's Disease Evaluated by 64Cu-ATSM PET/MRI: A Preliminary Study. Hidehiko Okazawa, Masamichi Ikawa, Tetsuya Tsujikawa, Tetsuya Mori, Akira Makino, Yasushi Kiyono, Yasunari Nakamoto, Hiroataka Kosaka, Makoto Yoneda. Antioxidants 11(5) 1022-1022. 2022年5月22日
3. Spinocerebellar Ataxia Type 31 Exacerbated by Anti-amino Terminal of Alpha-enolase Autoantibodies. Satoshi Zeniya, Nobuo Sanjo, Hiroya Kuwahara, Kinya Ishikawa, Miwa Higashi, Akiko Matsunaga, Makoto Yoneda, Hidehiro Mizusawa, Takanori Yokota. Intern Med (Tokyo, Japan) 61(18) 2793-2796. 2022年

【3本】

④ その他論文(査読なし)

1. 松永晶子, 米田誠. 抗NAE抗体による神経障害. Clin Neurosci 40, 258-259, 2022.
2. 松永晶子, 米田誠. 橋本脳症の臨床スペクトラムと診断・治療. 脳神経内科 96, 320-326, 2022.
3. 松永晶子, 米田誠. 甲状腺疾患・橋本脳症と認知症. Dementia Japan 36, 281-287, 2022.
4. 米田誠. 橋本脳症. 免疫性神経疾患(第2版)日本臨床(増刊号) 316-317, 2022.

【4本】

⑤ 学会発表等

(招待講演・シンポジスト)

1. 米田誠. 橋本脳症と小脳性運動失調症, ホットトピックス 治療可能な運動失調症～自己免疫性小脳性運動失調症の最近の進歩. 第63回日本神経学会学術集会, 令和4年5月18~21日, 東京.
2. 米田誠. 橋本脳症の診断と治療 ～見逃したくない治療可能な神経疾患～, 日本内科学会信越支部, 第66回生涯教育講演会, 令和4年6月4日, 上越市.
3. 米田誠. 橋本脳症一疾患の現在地, 新知見から得られた病態理解と臨床への応用, シンポジウム<NMO・自己免疫性脳炎>, 第34回日本神経免疫学会学術集会, 令和4年度10月20~21日, 長崎.
4. 米田誠, 橋本脳症と抗NAE抗体, 特別講演(ランチョンセミナー), 第65回日甲状腺学会学術集会, 令和4年11月1~3日, 大阪.

(一般演題)

5. 大石 真莉子, 古賀 道明, 渡邊 修, 米田誠, 田中 恵子, 中村 好一, 神田 隆. 自己免疫性脳炎の全国調査: NMDAR 脳炎/VGKC 複合体抗体関連脳症以外の脳炎に関する解析. 第63回日本神経学会学術集会, 令和4年5月18~21日, 東京.
6. 工藤 彰彦, 矢口 裕章, 阿部 恵, 江口 克紀, 長井 梓, 脇田 雅大, 白井 慎一, 岩田 育子, 松島 理明, 水戸 泰紀, 田島 康敬, 渡部 昌, 畠山 鎮次, 米田誠, 田中 恵子, 矢部 一郎. 免疫介在性小脳失調症における新規自己抗体の検討. 第63回日本神経学会学術集会, 令和4年5月18~21日, 東京.

【6件】

⑥ その他の公表実績

米田誠 「橋本脳症の診断に貢献」中日新聞・日刊福井に掲載, 2022年11月15日.

【1本】

(2) 科研費等の競争的資金獲得実績

(学外)

1. 統合失調症に潜む橋本脳症の臨床画像的特徴と背景遺伝子多型の探求. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 令和2年-4年度. (代表) 米田誠, 田中 雅嗣, 小坂 浩隆
2. 酸化ストレス・タウの包括的PETイメージングによるアルツハイマー病進展機序の解明. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 令和2年-4年度. 井川 正道, 岡沢 秀彦, (分担) 米田誠, 平山 暁
3. 独居高齢者の社会的支援を介入した在宅運動のアドヒアランスとフレイルの予防改善効果 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 令和4年-7年度. 平井 一芳, 金 憲経, (分担) 米田誠
4. 超希少難治性疾患の疾患レジストリ構築および診療に直結するエビデンス創出研究. 厚労省 難治性疾患実用化研究事業(AMED). (代表) 矢口 裕章 (分担) 米田誠. 令和4年-6年度.

(学内)

5. 精神疾患に潜む治療可能な「橋本脳症」の実態解明と診断・治療指針作成 一福井県の精神医療・認知症診療の向上をめざして一. 令和4~5年度 戦略的課題研究推進支援. (代表) 米田誠

(3) 特許等取得

なし

(4)学会活動等

・学会での役職など（学会名）

1. 日本神経免疫学会（1999年入会，評議員）
2. 日本神経治療学会（2001年入会，評議員）
3. 日本ミトコンドリア学会（2002年入会，理事・評議員）
4. 日本神経感染症学会（2006年入会，評議員，広報委員）
5. 日本てんかん学会（2010年入会，評議員）

・学会でのコメンテーター、司会活動（担当報告名、担当学会（大会）名（開催年月日））

1. 米田誠. 査読委員. 第63回日本神経学会学術集会，東京.
2. 米田誠. 優秀演題賞審査委員. 第63回日本神経学会学術集会，東京.
3. 米田誠. プログラム委員. 第34回日本神経免疫学会学術集会，長崎.
4. 米田誠. 査読委員. 第34回日本神経免疫学会学術集会，長崎.
5. 米田誠. 優秀演題賞審査委員. 第34回日本神経免疫学会学術集会，長崎.
6. 米田誠. 神経学会専門医試験査読委員.
7. 米田誠. 医師一般講演座長. 第40回日本神経治療学会学術集会，郡山.

・その他

福井大学客員教授（高エネルギー医学研究センター）（平成24年～現在）

5. 地域・社会貢献活動

① 国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）

1 委員就任（国） なし

2 委員就任（県）

・福井県高次脳機能障害支援普及事業委員（平成26～現在に至る）

・福井県・福井県健康管理協会「心をひとつにふくい応援」基金 配分委員会 委員長
（令和2～4年度）

3 委員就任（市町村） なし

4 委員就任（その他公共法人など） なし

② 兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動

・神経内科専門医が不足している地域における神経難病・認知症患者の診療による医療貢献
（社団医療法人中村病院，社団医療法人木村病院）

③その他

・福井県てんかん談話会（世話人）

・福井県脳機能画像研究会（世話人）

・北陸神経内科談話会（世話人）

・中部老年期認知症研究会（世話人）

・神経科学研究会（世話人）[全国]

・ミトコンドリア機能研究会（世話人）[全国]

6. 大学運営への参画

(1)補職

看護福祉学部長・研究科長（平成31年4月～現在）

(2)委員会・チーム活動

・教育研究審査会 委員（学内）

・部局長会議 委員（学内）

・教育研究委員会 委員長（学内）

・利益相反審議委員会 委員長（学内）

・人権擁護・倫理委員会 委員長（学内）

- ・大学院委員会 委員（学内）
- ・遺伝子組み換え実験安全委員会 委員（学内）
- ・衛生部会 委員（学内）
- ・毒劇物管理委員 委員（学内）
- ・保健管理センター（学校医）
- ・学生献血サークル「オープン・ザ・セサミ」顧問

(3)学内行事への参加

- ・オープンキャンパス運営・学部長の言葉

(4)その他、自発的活動など